



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 リバーエレテック株式会社
 コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 富士男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 大柴 公基
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0551 - 22 - 1211

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,239	2.6	58		60		59	
2019年3月期第3四半期	3,159	5.6	558		557		570	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 92百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 615百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	8.03	
2019年3月期第3四半期	77.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	6,237	760	12.2	103.11
2019年3月期	6,508	852	13.1	115.65

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 760百万円 2019年3月期 852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,709	11.4	32		11		10		1.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,492,652 株	2019年3月期	7,492,652 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	121,302 株	2019年3月期	121,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,371,350 株	2019年3月期3Q	7,371,350 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題などの影響から先行き不透明な状況が続いております。このような環境下において当社グループは早期黒字化に向けた経営合理化の実施、及び事業構造改革の進展により収益性が大幅に改善しております。

当社グループの業績は、スマートフォンや医療機器向けの水晶振動子の受注が前年を上回り、堅調に推移しました。利益面では収益性を重視した営業活動や固定費を中心としたコスト削減が奏功し、前年同期と比較して損失が大きく縮小しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.6%増の3,239,915千円となりました。営業損失は58,206千円（前年同期は558,918千円の営業損失）、経常損失は60,462千円（前年同期は557,746千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は59,172千円（前年同期は570,651千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(水晶製品事業)

	前第3四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	前年同期比
売上高	3,072,721千円	3,202,148千円	4.2%
セグメント損失(△)	△545,943千円	△57,866千円	—

水晶製品事業の売上高は、3,202,148千円（前年同期比4.2%増）、セグメント損失は57,866千円（前年同期は545,943千円のセグメント損失）となりました。アジア、欧州での堅調な受注を背景に、スマートフォン及び医療機器向けのアプリケーションが前年を上回った他、売価改善等の収益性重視の施策により、製品の利益バランスが見直され、利益面での改善に貢献しました。

(その他の電子部品事業)

	前第3四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	前年同期比
売上高	86,354千円	37,766千円	△56.3%
セグメント利益又は損失(△)	△11,802千円	△2,596千円	—

その他の電子部品事業は、AV機器向け部品の受注は増加しましたが、車載関連機器向け部品が前年を下回り、売上高は37,766千円（前年同期比56.3%減）となりました。損益面は、諸経費の抑制に努めた結果、販売管理費が減少し2,596千円のセグメント損失（前年同期は11,802千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少29,190千円、受取手形及び売掛金の増加18,297千円、商品及び製品の減少83,024千円、仕掛品の増加59,759千円、機械装置及び運搬具170,865千円の減少等により、前連結会計年度末から271,562千円減少し、6,237,301千円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の減少57,643千円、短期借入金の増加213,199千円、1年内返済予定の長期借入金の減少72,245千円、長期借入金176,080千円の減少等により、前連結会計年度末から179,134千円減少し、5,477,223千円となりました。純資産合計は、利益剰余金の減少59,172千円、為替換算調整勘定の減少41,189千円等により、前連結会計年度末から92,427千円減少し、760,077千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は92,761千円(前年同期は7,131千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失54,586千円、減価償却費281,898千円、売上債権の増加31,773千円、仕入債務の減少54,730千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は29,523千円(前年同期は87,216千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入による支出465,874千円、定期預金の払戻による収入546,969千円、有形固定資産の取得による支出108,858千円、投資有価証券の売却による収入61,492千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は47,310千円(前年同期は43,476千円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の増加額(純額)213,199千円、長期借入れによる収入600,000千円、長期借入金の返済による支出848,325千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,385,827	1,356,637
受取手形及び売掛金	1,096,888	1,115,185
商品及び製品	202,205	119,181
仕掛品	356,155	415,915
原材料及び貯蔵品	493,671	499,495
その他	143,920	119,680
貸倒引当金	△18,968	△18,547
流動資産合計	3,659,701	3,607,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	302,410	290,199
機械装置及び運搬具(純額)	1,138,880	968,014
工具、器具及び備品(純額)	66,395	51,600
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	28,161	37,407
建設仮勘定	655,695	669,525
有形固定資産合計	2,606,972	2,432,176
無形固定資産		
ソフトウェア	1,029	744
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	10,495	10,210
投資その他の資産		
投資有価証券	97,767	54,224
その他	133,926	133,141
投資その他の資産合計	231,693	187,365
固定資産合計	2,849,162	2,629,753
資産合計	6,508,863	6,237,301

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436,798	379,154
短期借入金	1,040,118	1,253,317
1年内返済予定の長期借入金	1,147,489	1,075,244
未払法人税等	13,252	9,618
賞与引当金	33,466	21,314
設備関係支払手形	69,776	63,587
その他	308,464	263,477
流動負債合計	3,049,366	3,065,713
固定負債		
長期借入金	2,181,515	2,005,435
長期未払金	161	-
繰延税金負債	37	380
役員退職慰労引当金	136,800	118,050
退職給付に係る負債	268,300	267,274
その他	20,177	20,369
固定負債合計	2,606,991	2,411,509
負債合計	5,656,358	5,477,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	787,297	787,297
利益剰余金	△832,142	△891,314
自己株式	△17,891	△17,891
株主資本合計	1,007,783	948,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,490	1,443
為替換算調整勘定	△148,788	△189,977
その他の包括利益累計額合計	△155,278	△188,534
純資産合計	852,505	760,077
負債純資産合計	6,508,863	6,237,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,159,075	3,239,915
売上原価	2,900,295	2,589,776
売上総利益	258,780	650,138
販売費及び一般管理費	817,698	708,345
営業損失(△)	△558,918	△58,206
営業外収益		
受取利息	3,373	3,583
受取配当金	2,081	2,020
為替差益	24,891	7,479
受取保険金	468	8,558
その他	4,203	16,397
営業外収益合計	35,018	38,039
営業外費用		
支払利息	30,065	34,513
その他	3,779	5,781
営業外費用合計	33,845	40,295
経常損失(△)	△557,746	△60,462
特別利益		
固定資産売却益	-	1,031
投資有価証券売却益	-	29,087
特別利益合計	-	30,118
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	-	24,242
退職特別加算金	9,154	-
特別損失合計	9,154	24,242
税金等調整前四半期純損失(△)	△566,900	△54,586
法人税、住民税及び事業税	3,720	4,585
法人税等調整額	30	-
法人税等合計	3,750	4,585
四半期純損失(△)	△570,651	△59,172
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△570,651	△59,172

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△570,651	△59,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,443	7,933
為替換算調整勘定	△31,398	△41,189
その他の包括利益合計	△44,841	△33,255
四半期包括利益	△615,493	△92,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△615,493	△92,427

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△566,900	△54,586
減価償却費	301,803	281,898
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△423	92
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,594	△12,152
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,460	△18,750
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△679	△1,025
受取利息及び受取配当金	△5,454	△5,603
支払利息	30,065	34,513
為替差損益(△は益)	9,179	13,906
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△1,031
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△29,087
投資有価証券評価損益(△は益)	-	24,242
受取保険金	△468	△8,558
退職特別加算金	9,154	-
売上債権の増減額(△は増加)	35,472	△31,773
たな卸資産の増減額(△は増加)	360,083	10,398
仕入債務の増減額(△は減少)	△189,058	△54,730
未収入金の増減額(△は増加)	865	287
未払金の増減額(△は減少)	△5,989	△943
その他	67,735	△29,016
小計	31,331	118,079
利息及び配当金の受取額	5,456	5,597
利息の支払額	△29,638	△33,966
法人税等の支払額	△8,253	△8,303
法人税等の還付額	636	2,795
保険金の受取額	468	8,558
退職特別加算金の支払額	△7,132	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,131	92,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△528,769	△465,874
定期預金の払戻による収入	572,120	546,969
有形固定資産の取得による支出	△124,595	△108,858
有形固定資産の売却による収入	-	1,031
投資有価証券の取得による支出	△4,897	△4,846
投資有価証券の売却による収入	-	61,492
その他	△1,075	△390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,216	29,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	71,759	213,199
長期借入れによる収入	788,145	600,000
長期借入金の返済による支出	△810,455	△848,325
長期未払金の返済による支出	△395	△416
リース債務の返済による支出	△5,577	△11,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,476	△47,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,788	△19,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,660	55,416
現金及び現金同等物の期首残高	990,446	813,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	930,786	869,349

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資

当社の2020年1月28日開催の取締役会において、生産能力増強に向けた設備投資について決議いたしました。

1. 設備投資の目的

小型音叉型水晶振動子の需要堅調による高水準な受注残高に対応するため、製造子会社である青森リバーテクノ株式会社において、生産ライン増設等によりさらなる事業強化を図ってまいります。また、今後も次世代通信規格5GやIoT市場のもとで安定した生産体制を構築すべく、高信頼かつ高品質な製品供給力でお客様価値の創造を目指してまいります。

2. 設備投資の概要

- | | |
|------------|----------------------------------|
| (1) 所在地 | 青森県青森市大字野木字山口245-11 青森リバーテクノ株式会社 |
| (2) 内容 | 水晶振動子の製造ライン増設等 |
| (3) 設備投資の額 | 5億円(予定) |
| (4) 稼働開始時期 | 2020年5月(予定) |

3. 設備投資が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

当該設備の稼働時期は2020年5月以降を予定しており、当該設備投資における2020年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,072,721	86,354	3,159,075	3,159,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,072,721	86,354	3,159,075	3,159,075
セグメント損失(△)	△545,943	△11,802	△557,746	△557,746

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△557,746
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△557,746

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,202,148	37,766	3,239,915	3,239,915
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,202,148	37,766	3,239,915	3,239,915
セグメント損失(△)	△57,866	△2,596	△60,462	△60,462

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△60,462
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△60,462

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。